

平成29年度3学期終業式（平成30年3月23日）

3年生が卒業し、1年生と2年生の3学期終業式を行いました。本日は、合唱部の第17回大阪ヴォーカルアンサンブルコンテストでの金賞受賞、及び個人参加での全国高等学校文化連盟将棋新人大会静岡大会での女子個人戦での準優勝の表彰を伝達し栄誉をたたえました。

3学期終業式校長式辞

皆さん おはようございます。

本日は、平成29年度3学期の終業式です。

今月の1日には、3年生の卒業式が行われました。275名の先輩が本校を巣立っていきました。卒業した3年生は、学校行事や部活動において素晴らしい活躍をしてくれました。

是非、皆さんも卒業した3年生の見習うべきところはしっかりと見習って、清水谷の伝統を引き継いでいてもらいたいと思います。

卒業式では、児童文学者の吉野源三郎さんが書かれた「君たちはどう生きるか」についてお話をしましたので、ここで少し紹介したいと思います。この本は、初版が発行されて以来80年が経過するにもかかわらず現在でも読まれているのはなぜなんだという思いから、私も読んでみました。この時代は、日中戦争が泥沼化していき、ヨーロッパではヒトラーやムッソリーニが登場し、間もなく第二次世界大戦がはじまろうとしています。そんな中、世の中の生きる意味について次第に自ら考え始めた主人公のコペル君を、叔父さんのアドバイスにより導いていくという内容です。

上級生から目をつけられている北見君が殴られるときにはみんなで殴られようと、約束していたコペル君は一人だけ約束を破ってしまいました。友だちを裏切ってしまったコペル君は、学校に行けなくなるほど強い自責の念に駆られます。そんな彼に叔父さんは「悲しみや苦しみの意味」を教えました。

「自分が取り返しのつかない過ちを犯してしまった、と感じているのは、正しい道に向かおうとしているからなんだ」

「僕たちは、自分で自分を決定する力を持っている。だから誤りを犯すことがある。しかし、僕たちは、自分で自分を決定する力を持っている。だから、誤りから立ち直ることができるのだ。」

これからの人生において、心に苦痛を感じたら、それは自分が正しい道を進もうとしているサインであり、「どうすればあるべき姿に戻れるのか?」「自分はどう生きるか?」という質問に向かい合うことで、人間的な成長を積み重ねていってください。

次年度、2年生は卒業年度を迎えます。部活動の最終目標に向かって頑張る年になります。また、希望する進路に向かってのラストスパートをかける年になります。1年生は次年度、部活動の中心学年となります。しかし、よく言われるのが「中だるみ」になりやすい1年でもあります。

短めの春休みですが、皆さんが事故なく全力を発揮することを期待しまして、終業式のあいさつとします。